

在宅患者の初期症状と 蔓延防止策

ゆきよし訪問看護ステーション

東館 麻貴

感染症とは

環境中(大気・水・土壌・動物(人も含む)など)に存在する病原性の微生物が人の体内に侵入することで引き起こす疾患です。

環境中に存在する病原微生物

ウイルス

- ・インフルエンザウイルス
- ・ノロウイルスなど

マイコプラズマ

リケッチア

クラミジア

細菌

- ・腸管出血性大腸菌
- ・コレラ菌など

カビ

- ・白癬菌
- ・カンジダなど

原虫

- ・アニサキス
- ・マラリア原虫など

人の体に侵入

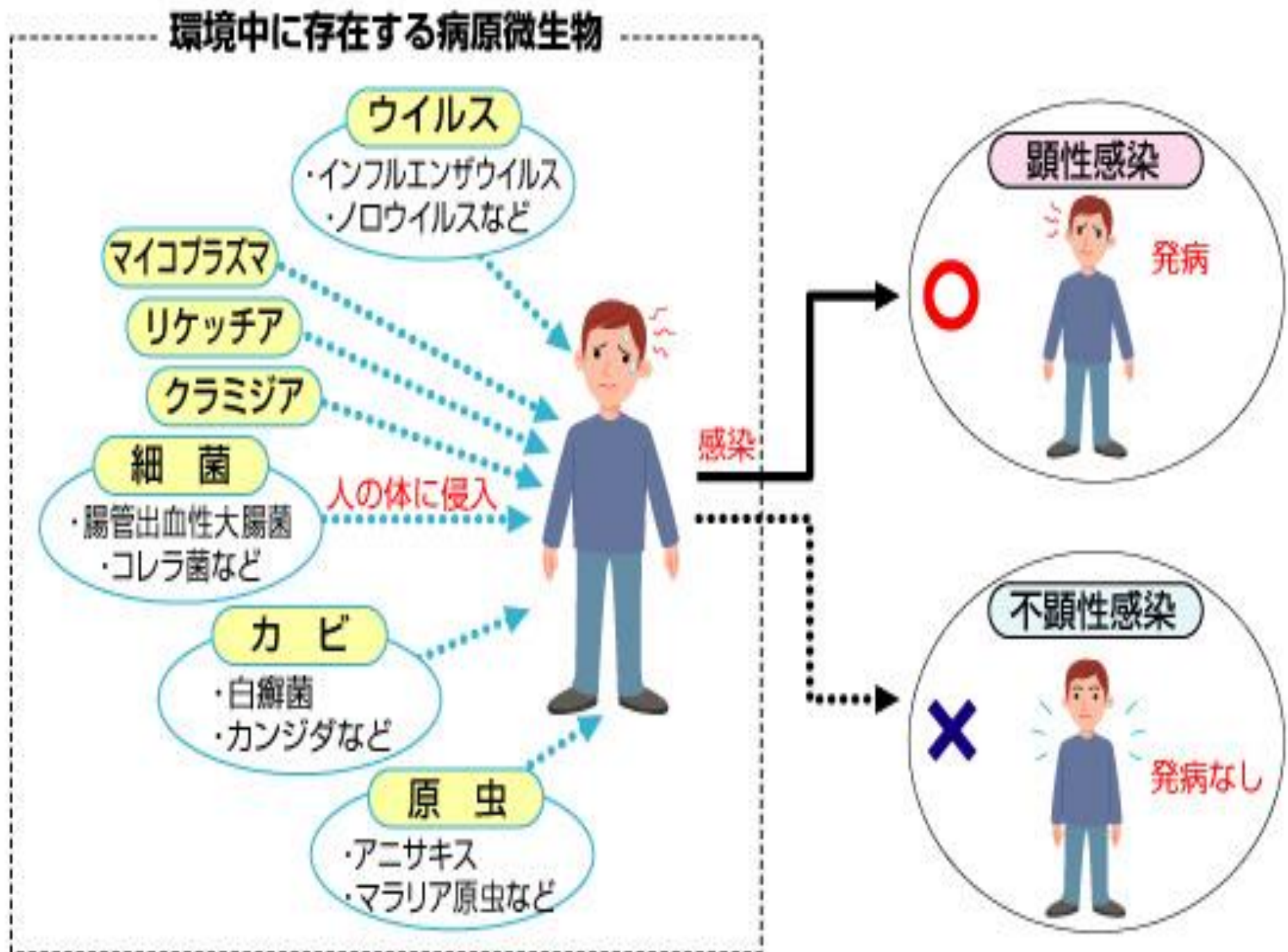
感染

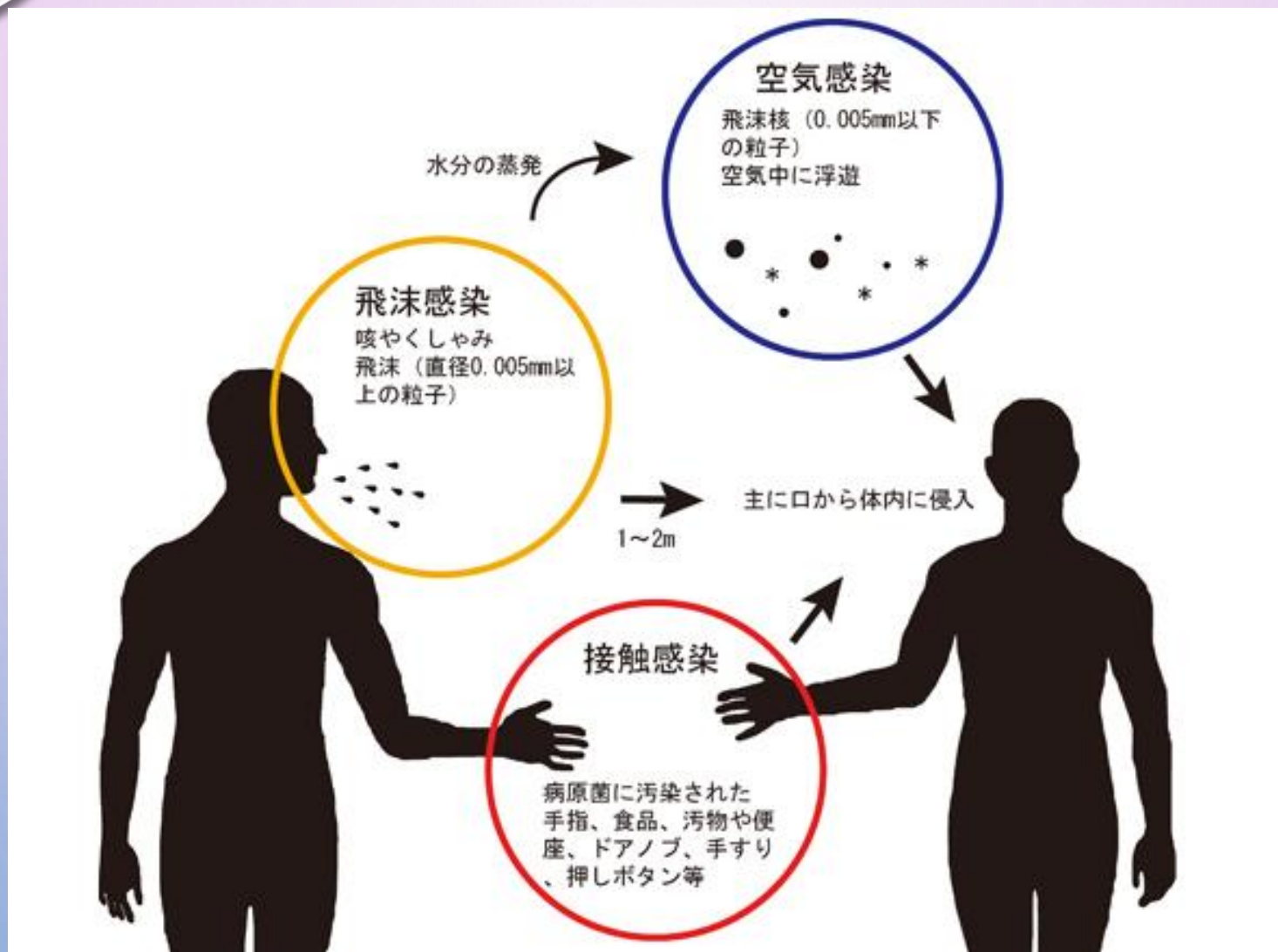
顕性感染

発病

不顕性感染

発病なし





高齢者における感染症

内因性感染症

高齢者が感染症に罹患すると大変な理由

- ◆加齢による身体諸機能の低下がある。
- ◆特定臓器の慢性障害をもっている頻度が高くなる。
- ◆これらを背景としてさらに加齢に伴う全身的な免疫能の低下が進行すると、感染防御力の弱い臓器から感染症が発症する。
- ◆経過は急速で症状は重く、再発・再燃を繰り返し、やがて難治化、慢性化すると回復にも時間がかかる。

そして・・・

- ◆臥床安静を強いられると、ADLが低下して**寝たきり**になってしまう場合が多い。
- ◆**低栄養**になり易い。また、必然的におむつの使用や、導尿、尿道留置カテーテルなどの**医療行為**を受ける機会も増える。
- ◆これらが誘因となって、**さらに新たな感染症が発症する悪循環**に陥ることが多くみられる。

在宅ケアで直面する感染症

◆ノロウイルス

◆インフルエンザ

◆結核

◆疥癬、白癬

◆MRSA等耐性菌

◆食中毒

◆HBV、HCV、HIV等血液感染症

◆肺炎(誤嚥性肺炎)

◆尿路感染症

◆創部からの感染(褥瘡や胃瘻挿入部など)

熱が出ている・・・

インフルエンザ？

風邪？

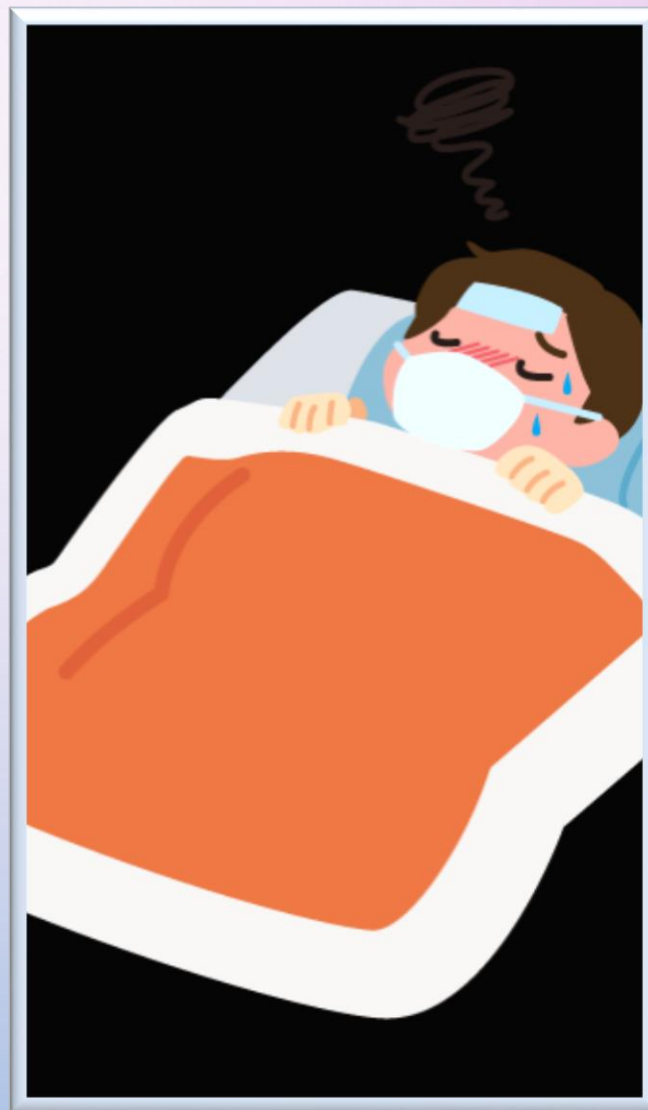
食中毒？

尿路感染？

肺炎？

脱水？

こもり熱？



インフルエンザ？ 風邪？

インフルエンザ

かぜ

初発症状

発熱・悪寒・頭痛

鼻咽頭の乾燥感
およびくしゃみ

主な症状

発熱・筋肉痛・関節痛

鼻汁・鼻閉

悪寒

高度

軽度、きわめて短期

熱および熱型
(期間)

38～40℃
(3～4日間)

ないか、もしくは微熱

全身痛・筋肉痛・関節痛

高度

ない

倦怠感

高度

ほとんどない

鼻汁、鼻閉

後期より著しい

初期より著しい

合併症

気管支炎、インフルエンザ肺炎、
細菌性脳炎、脳症

まれ

食中毒？

食中毒の症状

下痢・嘔吐・腹痛・**発熱**

ノロウイルスも食中毒の
一種です。



食中毒予防3原則

細菌などを食べ物に「付けない」

手洗い！！

食べものに付着した細菌を「増やさない」

低温で保存！！

食べ物や調理器具に付着した細菌やウイルスを「やっつける」

加熱処理！！

尿路感染？肺炎？脱水？

何かいつもと違う・・・？

活気はある？

食欲はある？

尿量は？

血圧は？

脈拍？

室温？

The background features a light blue gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across the frame. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance. The text is centered in the middle of the image.

私たちに出来る事・・・

- ◆十分な睡眠。
- ◆バランスのとれた食事。
- ◆適度な運動。
- ◆できる限り規則正しい生活。
- ◆時々ストレス発散。
- ◆正しい知識を持つこと。

感染経路を遮断する事！

- ✓ 感染源を持ち込まない
- ✓ 感染源を広めない
- ✓ 感染源を持ち出さない

利用者・家族への正しい指導

- ◆まず、スタッフが正しい知識を持つ事。
- ◆普段の健康な状態を知っておく。
- ◆生活環境や生活スタイルから、陥りやすい病気等を日頃からアセスメントし、対策を指導する。

最後に・・・

爪白癬

こんなに綺麗になりました！

2013年12月



2014年7月

